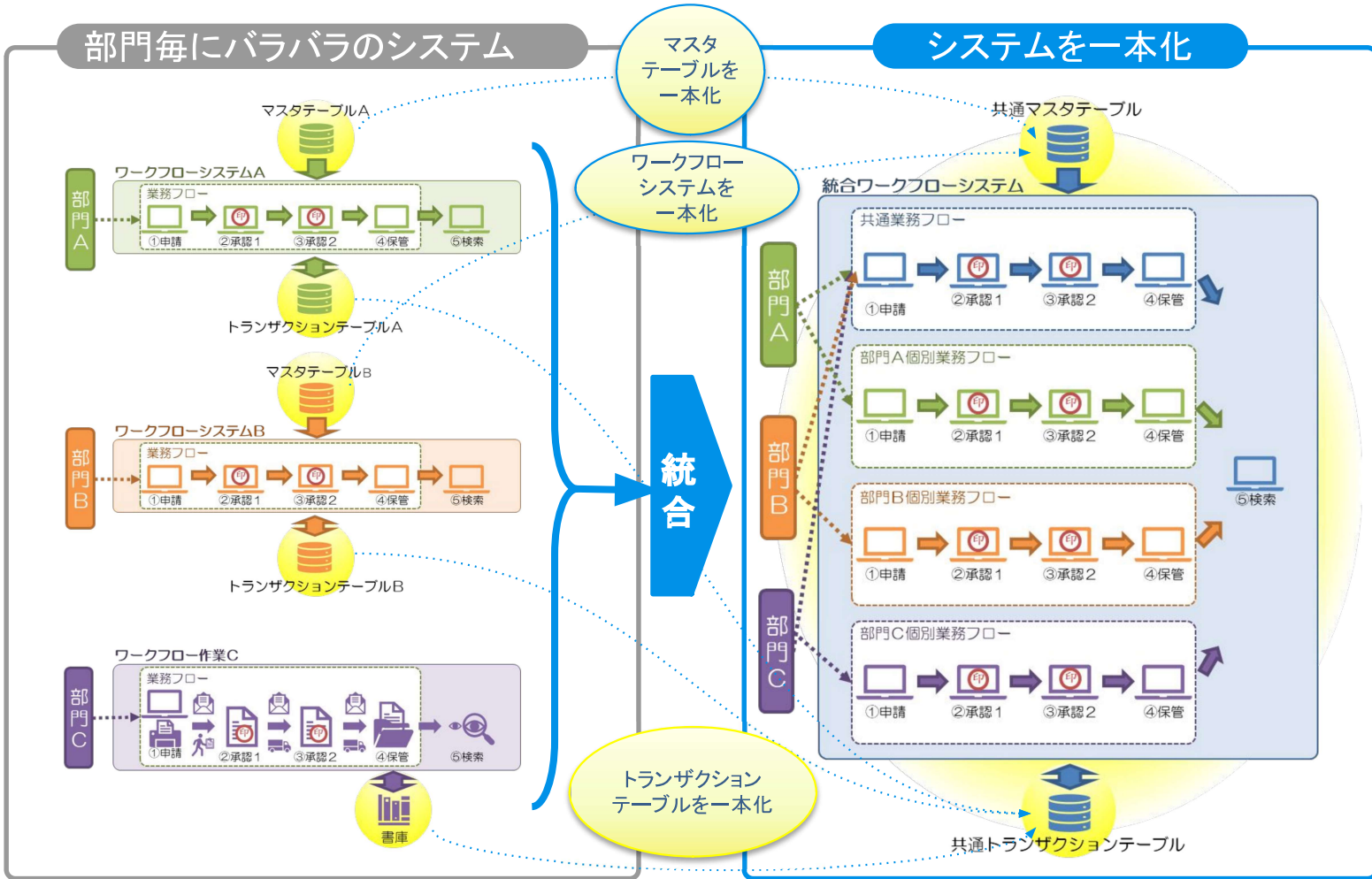


## ～ワークフローの一本化でガバナンス強化の実現～

各部門で独自に運用されている『野良ワークフロー』を統合されたワークフローに一本化しガバナンス強化を実現します。



### メリット1: システム共通基盤

- 部門やワークフロー基盤ごとに乱立している各ワークフローを統合できます。
- 統合により属人化されていた業務フロー、オペレーションの標準化が推進できます。
- 外部システムと連携方式も統一させることで業務効率化のスピードが加速します。

### メリット2: データ一元管理

- 各種データ(マスタ、業務処理データ)を一元管理することにより、全体整合を保持しやすくなります。
- 同一データの二重投入や転記作業などを一掃します。
- 知りたい情報を「検索」することで類似データの利活用や再利用が可能になります。

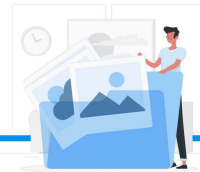
### メリット3: ユーザ・組織管理

- 定期、非定期の組織変更や人事異動にも一か所修正で容易に変更が可能です。
- 一人に対して複数の役割登録が可能のため兼務従事者にも柔軟に対応できます。
- 承認設定は組織や役職で設定でき個々人に設定する手間を省くことが可能となります。

# “プラスα”でさらに効率UP!!

ワークフロー業務のシステム化にプラスして  
さらにもう一歩進んだ効率化も実現しませんか？

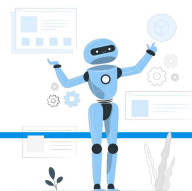
## ＋プラス1:文書管理



社内で取り扱うドキュメントやデータを一元的に保持し管理することで利便性を高め、  
効率化、コンプライアンスの強化を図る

- バージョン管理 : 常に最新のデータの取得が可能
- セキュリティ : アクセス制限や情報漏洩・改ざんを防止 アクセスログ
- マルチデバイスアクセス : パソコン、スマートフォン、タブレットなどからアクセスが可能
- 文書検索 : 分類、タグ、全文検索を利用し必要なデータや情報を即座に取得することが可能
- 属人化防止 : 同一文書の複数存在がなくなり単一化
- ペーパーレス : 作業効率向上、コスト削減(作業時間、保管場所、紙代、印刷代)

## ＋プラス2:業務自動化(RPA)



RPAの導入により定型業務を自動化  
RPAとワークフローと組み合わせることにより、その前後にある業務プロセス全般の  
自動化にまで拡張することが可能

- RPAが単純作業を代行
- 業務効率化
- 生産性向上
- 人的ミスの削減
- 人件費の削減
- 従業員のモチベーションの向上

## ＋プラス3:業務プロセス管理(BPM)



業務プロセスを可視化して見直すことにより  
無駄な業務処理の排除や標準化による属人化の解消  
効果の測定やPDCAサイクルによる業務改善で生産性向上、品質向上

- 業務プロセス可視化
- 無駄な業務処理を排除
- 業務処理の標準化による属人化解消
- PDCAサイクルによる業務改善